

コロナ後遺症の医療体制を推進

新型コロナウイルス感染症から回復した後も、強い倦怠感や睡眠障害等が残る罹患後症状（後遺症）。こうした後遺症に対応するための体制を粘り強く要望してきました。

県では2022年1月に、まず身近なかかりつけ医や近隣の医療機関に相談していただき、専門的な対応が必要な場合は2次医療機関に繋ぐ仕組みを構築しました。また、主な症状やその特徴とともに、対応可能な医療機関をホームページで案内しています。

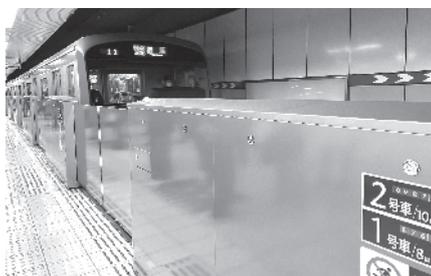
今後は、後遺症に悩む方が安心して療養や復帰ができるよう、勤め先等の理解を深めるための講演会を、経済団体を対象に実施します。



ホームドアの設置

相模鉄道の大和駅、東急田園都市線のつきみ野駅と中央林間駅でホームドアが設置されました。

鉄道駅における事故が相次いでいることから、私は2011年の県議選初当選以来、一貫してホームドアの設置を推進してきました。



小田急線踏切内の歩道が拡幅

小田急江ノ島線と県道40号（厚木街道）が交差する大和1号踏切内の歩道が、このほど拡幅され、カラー舗装となりました。この踏切は歩道が狭いうえ、トラックなどの大型車の通行も多く、2015年6月に自転車に乗っていた県立高校の男子生徒が亡くなる痛ましい事故が起きており、県の土木事務所に再び事故を起こさないための改善策を求めています。



上和田歩道橋交差点、歩行者用信号機を設置



国道467号線（藤沢街道）のオーケー大和上和田店前の交差点に2020年2月、待望の歩行者用信号機と横断歩道が設置されました。

この交差点は、歩道橋があるものの、高齢者などの方々にとっては階段の昇り降りがつらいため、警察に対し、地域の方々とともに粘り強く要望を続けていました。

障害者手帳、カード形式を導入へ

「ケースから取り出すのが大変なので、カード化してほしい」

障害者手帳は、縦長の紙を折り畳んだものであるため、これまでカード化を求める要望を数多くいただいていた。こうした声を受けて、県当局に早期のカード化を求めるとともに、本会議で黒岩祐治知事に訴えかけました。

その結果、2021年10月から、県が交付する身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳にカード形式が導入されました。すでに手帳をお持ちで、カード形式を希望しない方は、紙形式の手帳をそのまま使用できます。



Profile

谷口 和史 プロフィール

- 1962年 和歌山県海南市生まれ
- 1981年 和歌山県立海南高校卒業
- 1983年 大阪外語専門学校卒業
- 1988年 創価大学文学部社会学科卒業（在学中にアリゾナ大学に留学）
- 1989年 ロイター通信社入社（経済記者・ロイターテレビ日本語副編集長を歴任）
- 2005年 衆院選初当選（比例区・南関東ブロック）
- 2006年 総務大臣政務官
- 2008年 国土交通大臣政務官
- 2011年 神奈川県議選初当選（大和市選挙区）
- 2015年 神奈川県議選2期目当選
- 2019年 神奈川県議選3期目当選

県議会

防災警察常任委員会

党役職

公明党 神奈川県本部 幹事長

県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県議会公明党控室

TEL: 045-210-7630
FAX: 045-210-8912

QRコードで
LINE
お友達登録



- LINE
ID: kazoo1962
- ブログ
<https://blog.goo.ne.jp/kazufumi-taniguchi>
- facebook
<https://www.facebook.com/kazufumi.taniguchi>
- ツイッター
https://twitter.com/kazu_taniguchi
- 谷口かずふみ 県政報告サイト
<https://www.kazufumi-taniguchi.com>